

## 令和5年度 第1回 富谷市総合計画審議会 会議録

日 時：令和5年11月13日（月） 午後3時30分から午後5時05分まで

場 所：富谷市役所 3階 305会議室

参加者：富谷市総合計画審議会 出席委員13名

：富谷市9名

：事務局4名

：オブザーバー（日吉台中学校生徒）2名

### 1 開会（司会：企画部長）

### 2 市長挨拶（若生市長）

皆さん、こんにちは。本日は大変お忙しいところ、令和5年度第1回富谷市総合計画審議会にご出席をいただきましたことを心から御礼申し上げたいと思います。委員の皆さんはそれぞれの分野でご活躍されている皆さんでございまして、本当にご多忙の中、13名の方にご出席をいただきまして、改めて心から御礼申し上げたいと思います。

お陰様で、富谷市は先月の10月10日に市制施行7周年を迎えることができました。市制施行を迎えるにあたって、これまでもお話をさせていただいておりますが、市になることが目的ではなくて、大切なのはどのような市をつくるかだということです。市民の皆さんからアンケート、または地区ごとに座談会などを開きながら、市民の皆さんの声をいただいて作り上げた、住みたくなるまち日本一、100年間人が増え続けるまちというものを目指してスタートして、もう7年が経過し、令和3年度からは後期基本計画が新たにスタートしたところでございます。後期基本計画がスタートするにあたって、後ほど市政運営報告でもお話をさせていただきますが、新たな3つの視点を加えさせていただきまして、いわゆる子どもにやさしいまちづくり、そしてSDGs、そしてコロナ禍の影響を諸に受けていた時代ですので、アフターコロナ、ウィズコロナということを加えてスタートしたところでございます。いよいよこの計画もあと2か年となり、次年度からは次期計画に向けてスタートするところでございます。次年度につきましては、田園都市構想というものを、これまでも風見先生をはじめ、先生方からあらゆる機会にご提言をいただいておりますので、そういった富谷らしさというものをさらに打ち出した形で次期計画を進めていければと思っております。また、子どもにやさしいまちづくりということで、本市におきましては、11月20日の世界子どもの日に、これは国連において子どもの権利条約が採択された日を記念して設定されたものですが、それに合わせて、平成30年11月20日に「子どもにやさしいまちづくり宣言」を行ったところでございます。それを踏まえて、子どもたちの意見を、子どもたちの権利を市政に反映させるために、総合計画審議会においても中学生のお二人にオブザーバーとしてご参加いただいております。最後にご意見をいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。また、11月20日には、市内の小学校8校を代表した小学生の皆さんから直接、市政に色々なご意見をいただく機会として、「わくわく子どもミーティング」を毎年開催しているところでございます。今年度も11月20日に開催する予定になっておりまして、そういったところも踏まえながら、今後の総合計画にもしっかりと子どもたちの意見、子どもたちの声を反映しながら作っていきたいと思っておりますのでございます。

まずは今日、地方創生総合戦略の効果と検証についてご報告をさせていただき、皆さんから次期総合計画に向けてのご意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 3 委員委嘱

(委嘱状交付)

### 4 市政運営報告

※資料1により市長が市政運営を説明

### 5 議事

#### (1) 会長の選任及び会長職務代理者の指定について

互選により、会長に風見委員が就く。

(会長あいさつ)

それでは改めまして、ただ今、会長という重責を任命いただきました宮城大学の風見でございます。初めての方はほぼいらっしゃいませんので、細かい紹介は避けさせていただきます。今、若生市長から市政報告がございましたが、この時代に人口増加をしている市町村というのは、大変恵まれた状況でありますし、また、それを維持して実りあるものにしていくということは、多くの知恵がいるところであると感じています。そういう意味でも、この総合計画というのは大変大きな計画でございます。皆さんご承知だと思いますけれども、市における最高の上位の計画ということでございます。それゆえに棚に上がった餅にならないようにという部分もありまして、継続して会長を務めさせていただくからには、しっかりとこれからの10年、100年が富谷市にとって素晴らしいものになるように議事を進めてまいりたいと思いますので、ご協力をお願いしたいと思います。

また、ご挨拶としてお話ししたいのは、先ほどのお話に重要事項として3点ありました。子どもの未来、今日、若い諸君が来てくれておりますけれども、10年、20年、50年先を生きる子どもたちにしっかりと富谷市を残す、地域の子どもの未来がここで決まるという重責だということ。二つ目にSDGsでゼロカーボンシティに取り組んでいますけれども、SDGsというのは避けて通れない、実際に2050年にカーボンニュートラルも押し迫っておりますので、そういう意味では、市としてもしっかりと政策をとっていく。これについては、先ほどご紹介いただきました田園都市というのは、私も長年研究を続けてきて、この東北に参った時に、東北こそ田園都市にふさわしいと思いました。少し話が逸れますが、皆さん、今日来られる時に虹を見ましたか。私は仙台方向から来たのですが、見事な虹がかかっている、総合計画審議会に向かう時に虹がかかるとは、何て縁起が良いと思いつつ、皆さんもご覧いただいたのかと思います。あとはアフターコロナですけれども、交流人口が戻ってきておりますので、とみやどや荷宿も含めて様々な交流人口の拠点を作ってまいったわけです。若生市長からありましたように、数々の戦略が進んでおります。これを総合計画として、横につながり、戦略的に都市経営をしていくということが、非常に重要な時期になってきたのではないかと思います。また、少し付け加えさせていただきますと、先ほど大亀山森林公園がありましたけれども、11月11日に、こちらにいらっしゃるSCRの村上さんと一緒に大亀山森林公園でツリーハウスを作り始めました。61名の多くの方々にご参加いただいて、ツリーハウスへの関心の高さに嬉しい悲鳴をあげたところです。田園都市というのは、一言で言えば、美しい田園に都市的な暮らしをどう計画的に作っていくかということで、まさしく今日、虹がかかった美しい自然に囲まれた田園都市の富谷市が、自然をより近くに感じるようなそういう仕掛けをスタートしております。来年の春に完成いたしますので、色々リリースをさせていただきながら、またそれを全市に広げていければということで、壮なるチャレンジが始まったところでございます。

人口が減少する中で、皆さんが住んでみたいと、長く住みたいと言っていただけるまちづくり、これは全国の見本になると思いますので、我々も総合計画審議会の委員として、しっかりと責任を持って、進んでまいればと思います。

また、先日、宮城大学で自治体向けのセミナーを行いまして、総合計画の担当者の方2名に勉強に来ていただきました。そのテーマがEBPMということで、エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキングということで、データに基づいた科学的な政策決定ということで、今日もKPIが色々出てまいります。数字にとらわれ過ぎてもいけないのですが、やはり数字を出していきながら皆さんに理解をいただいて、進んでいく、点検をしていくということで、まさに今日は地方創生総合戦略の点検ということでございますので、その話を出ささせていただきました。各自治体の皆さんがお出でになりましたが、富谷市の担当者の方にもしっかりとご発言いただいて、会を活発にさせていただきました。改めて御礼申し上げます。

総合計画ということで、来年からまた新しいスタートになっていくわけですがけれども、本日お集まりのメンバーの皆様は、大変多方面の方々ですので、有意義な時間にするように各方面から貴重なご意見をいただけてまいりたいと思います。これからの子どもたちに、本当に素敵な美しい富谷市を伝えていくように、我々共に頑張りたいと思います。簡単ではございますが、会長就任にあたっての挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

**※ここから、会長が議長となり議事が進行された。**

**※会長の指名により、職務代理者に佐々木委員が就く。**

## (2) 第2次富谷市地方創生総合戦略の効果・検証について

### (風見会長)

それでは、議事の(2)第2次富谷市地方創生総合戦略の効果・検証について、事務局から一括で説明をお願いします。

### (事務局)

それでは第2次地方創生総合戦略の令和4年度の実績についてご説明いたします。まずはお手元のA3版の両面カラーの資料、第2次富谷市地方創生総合戦略概要版と書かれているものをご用意ください。

まずは総合計画と地方創生総合戦略の関係性について簡単にご説明させていただきます。概要版の右下の図をご覧ください。富谷市総合計画が一番上にございまして、その中で前期、後期ということで基本計画を5年ごとに区切って作っております。その後期基本計画の計画期間が令和3年度からということで始まっておりまして、総合計画において地方創生の趣旨を反映した重点的に実施する施策を総合戦略として位置付けております。こちら後期基本計画と同様に令和3年度からスタートしております。左上に戻りまして、計画期間と管理体制というところをご覧ください。期間は令和3年度から令和7年度までとなっております。なお書き以降に記載されておりますが、この戦略の検証機関として、この総合計画審議会が位置付けられており、本日、皆様からご意見をいただく流れとなっております。

続きまして、概要版の裏面をご覧ください。こちらが総合戦略の四つの基本目標とそれぞれの数値

目標、そして、その数値目標につながる指標となる重要業績評価指標、K P I と呼ばれるもの。それから基本目標毎に取組方針を概要として載せております。これからそれぞれの基本目標の令和 4 年度の実績についてご説明をさせていただきます。資料 2 をご覧ください。

### ※資料 2 「富谷市地方創生総合戦略数値目標及び K P I の実績について」により進捗の報告

#### (事務局)

以上が、総合戦略数値目標及び K P I の令和 4 年度の実績でございます。

続きまして、資料 3 の地方創生交付金充当事業の K P I 実績についてという資料をご覧ください。地方創生総合戦略の中で重点的に行う事業については、国の交付金を活用することができるようになっておりまして、その交付金を活用したプロジェクトにも、計画の段階で数値目標を設けておりましたので、そちらの数値目標と令和 4 年度の実績について簡単にご説明をさせていただきます。

### ※資料 3 「地方創生交付金充当事業の K P I 実績について」により進捗の報告

#### (風見会長)

ご覧のとおり K P I ということで、数値ははっきり出るわけですがけれども、先ほどの地方創生総合戦略については、通信簿ではないですがけれども、概ね良い数値がとれて、一部もちろん課題はありますけれども、中間値ですので、達成しているものもあり、頑張らなければいけないものもあるという状況がわかるかと思えます。また、地方創生交付金の充当事業については、特に商品開発について少し頑張らなければいけないということをご認識されているようですので、今、とみやど、プレミアムスクールでも様々な仕掛けが進んでいるようですので、そこに期待したいと思えます。

それでは、まずこの表の見方や現状認識についてご質問を受けたいと思えますが、いかがでしょうか。その後、もしご質問が無ければそれぞれご意見を伺ってはいかがでしょうかと思えますので、よろしいですか。それでは、時間もございますので、皆さん活発な議論が予想されますので、名簿順で一巡してまいります。佐々木委員から順に一言ご意見、ご質問あればよろしくお願ひします。

#### (佐々木委員)

それでは一言だけにしたいと思えます。多分こういう形で総合計画の全体像が出てくるのですがけれども、地域の皆さんや外の皆さんから具体にはどうなっているのかという質問が、今後出てくるかと思えますので、例えば人材育成でこういう人物が輩出されたとか、富谷らしい人がいると、それに従って、そういう人がいるなら行ってみようとか、そういう循環が生まれてくると思えます。今、市民協働課のほうでも、町内会の事例集を作ることに着手しているのですが、行政の役割として可視化をして循環していくようなモデルを今後打ち出していくということが、次の総合計画に向けてのポイントになるのかと思えて聞かせていただきました。

#### (風見会長)

本当に可視化は重要ですね。

#### (安齋委員)

私の立場では、やはり健康なまちという視点で見ることが大切かと思えますので、そういう意味で

は、認知症学びの講座ですとか、ゆとりすとクラブ・サロンなど、コロナ禍にあっても逆に伸びているというあたりで評価できるかと思います。関係者の方々がきっと頑張っているのだろうなと思いました。今、健康格差ということがよく言われておりますので、こういうところに来られない人たちですとか、なかなか経済的にも恵まれない状況の中で健康が害されている人たちというのも少なからずいると思いますので、是非そういうところにも目を向けて活動していただくと良いのかと思いました。

**(風見会長)**

やはりノーマライゼーション、特に誰も取り残さないというSDGsの精神で、事務局のほうでは是非強調をよろしくお願いします。

**(石井委員)**

私は仙台市の中心部の活性化の仕事をしている立場で、横から富谷市さんを見ているわけですが、若生市長のいわゆる総合計画からこの地方創生総合戦略まで、全部一気通貫のストーリーでいっているというのが非常にうらやましく思っていて、仙台市ではなかなか難しいと思っています。特に先ほど風見先生もおっしゃった田園都市構想の中で、強みは都市と自然、あとは歴史だと思います。今、富谷の皆さんがとみやどを中心に歴史を非常に大切にされている。富谷茶も多分そうだと思いますが、それがひいては交流人口の増加につながるのだろうと思っていますので、令和7年度まであと2年半ですけれども、是非この第2次をしっかりとこなし、第3次へ行っていただくことを期待しております。

**(風見会長)**

今、石井委員からありましたように、ある程度の都市の規模はとても重要だと思います。そういう意味で成長を大切にしながら、都市はやはり文化と歴史と交流だと思いますから、それをしっかりと整備をしながら、豊かな自然が里山があり、ほかでは得難い状況ですので、しっかりと施策を進めていただければと思います。

**(小松委員)**

私は農業のほうしかなかかなか手助けができないですが、今、農地で荒れているところが結構あるので、今から富谷市の特産品のお茶とかを推進しながら、力添えになれば良いと思っていますし、古い人たちと新しい人たちの隔てみたいなのが、まだやはりあつたりするので、そういうものに対して何か違った意味でやっていきたいという気持ちがあります。

**(風見会長)**

新旧の話は非常に重要な課題ですね。先ほど佐々木委員のお話にもありましたコミュニティの醸成というのは、新旧含めて多様な、多世代の交流が大事ですよ。

**(清野委員)**

富谷市の安定した人口の増加というところが、毎回ですが非常に良いと思っています。先日、市街化区域の編入で1,170人、明石台のところを県からOKをもらったということで、ますます増えてくるというところが、今後に向けての一つの大きな希望かと思っています。我々、銀行もこの前の大衡の工場の件もありまして、大和町の吉岡支店、あと富谷支店を一括りで営業していかなければならない

というような見方を経営のほうでも思っておりますので、今まで以上に銀行を使っただいて、地域へお返しできればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

#### (風見会長)

人口の安定成長というのは、国家戦略でもなかなかできないことですので、でもある意味、自治体戦略なのだと思うのですよね。エンドユーザーの市民が本当に住みやすく、子育てができる環境があるかということが多分大きいと思いますし、特に清野委員におかれましては、財政面も、予算に起用していただくところのスタートアップも是非ご支援いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

#### (富田委員)

この総合計画を立てたのが7年前、7年と言うと、中学生が小学生だった頃に始まって、7年経って私自身も色々な環境が変わったと思うし、もうそろそろゆとりすとサロンかしらとも思います。本当に色々なものが変わっていても、計画がしっかりできているということはとても誇らしいし、私自身も関わってこられて良かったとしみじみ思っているところです。

そこで1点だけ質問したいのですが、ゼロカーボンについて去年も質問しました。どのように今後進めていけますか。今年度はあまりこの活動で横行的なところは目につかなかったように思っています。前年度は水素バスとか、みつばちの里でイベントがあつたりしましたが、今年度はあまり無かった気がします。やはりこのゼロカーボンは子どもたちのために重要な課題だと私は思っていて、人にやれやれと言うからには自分も何かと思って、自分の家から出る生ごみなどを黒土のバクテリアで分解するというような仕組みを家の中に取り入れています。電気も使わないし、コンポストみたいな派手なバケツを追加したものではなくて、庭に置いて、自分の植物を育てるたい肥にしたり、自分の畑にまくたい肥にしたりというのをやってみています。ごみを減らすとか、環境庁ではクールチョイスと言って、ゼロカーボンに向けた個人ができる取組をたくさんメニュー化していて、このようなことをやってみましょうと推進している。これをもう少し今の富谷市に入れられないかなと、一人ひとりができる取組というのをもう少しこれから入れていただければ良いかなと思っているところです。なので、もし今年度の取組がありましたら教えてください。

#### (風見会長)

若生市長、よろしくお願いいたします。

#### (市長)

ゼロカーボン宣言をして、令和3年度にゼロカーボン戦略、13の戦略を策定いたしまして、基本的にはその13の戦略を一つひとつ実施している状況でございます。昨年までだとサイエンスキャスルやフォーラムなどのイベント的な事業が多かったので、それから比べるともしかしたら少しトーンダウンしていると思われるかと思うのですが、これまでゼロカーボン宣言をして、ゼロカーボン戦略を策定して、世界気候エネルギー首長誓約に署名するなど色々な活動をしていく中で、もちろん我々行政もやれることに取り組んでおりますけれども、最終的には、今、富田さんがお話された一人ひとりの行動変容が何よりも重要だということで、今年の3月末に全世帯に環境アクションBOOK「未来へ」を配布させていただきました。また、キリバス共和国が地球温暖化によって沈みつつあるということで、日本キリバス協会のケンタロ・オノさんをお招きして講演会を開催したり、この前

ユネスコ協会でも開催していただきましたけれども、そういった取組を行っているところでございます。そういう意味では、富田さんのような方を一人ひとり、どんどん増やしていくことが大事であると思いますし、さらにもう少し力を入れていきたいと思っております。

**(風見会長)**

私もゼロカーボン戦略に関わったメンバーとして、今の話は大変重要なことだと思えました。ゼロカーボンを達成するのに2050年が一つの目標で、ただ2030年が大きな目標なので、ここから富谷市としてもしっかりと形を表さなければいけない重要な時期かと思えます。そういう意味では、生活と産業と教育かなと思えますので、生活の面では、若生市長がおっしゃったとおり行動変容が一番大事で、それとやはり教育だとも思うのですよね。学校、また家庭の中でどう教育、行動変容、意識変容していくか、そういうことも含めて富谷市で頑張って取り組んでいくことになると思えますので、また富田委員からそういった積極的なご提言をいただけるとありがたいと思えます。

それでは順番が変わりまして、平岡委員が途中でご退席されるということで、先にお願ひします。

**(平岡委員)**

私は1点だけ、地下鉄の整備ですね。これは今までの公共交通政策を見ても無理な計画ではないことはわかるのですが、できたら病院の誘致とか、明石台地区の交通の渋滞を防ぐためには、地下鉄ではなくても、市長が今考えていらっしゃる新たな公共交通の整備に向けて検討しているということも、地下鉄も大事ですけども、早くに皆さんが良い話を聞けるようお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。あとは見る限り色々なものに参加していますので、これだけのことをやっていたら、これ以上何も無いのではないかなと思うところもありますし、これからますます期待したいというところもあります。

**(風見会長)**

若生市長、何かありますか。

**(市長)**

交通戦略は重要な位置付けで考えております。今お話がありましたように、総合病院の誘致を何とか実現できれば、少なくとも仙台からの通勤、通学がかなり多くなりますので、そういう意味では、仙台市さんにご協力いただかなければ実現できませんし、今のところ仙台市さんにとっては何で延長する必要があるのだろうと。ただ、総合病院の誘致が決定されれば、色々な意味で富谷市へのアクセスの重要性を仙台市も共有しなければいけない部分も出てきますので、もちろん地下鉄一本ではなく、今年度はガイドウェイ・トランジットを含むBRTの方式も含めて検討しております。実現することが大事だと思っておりますので、引き続き頑張っていきたいと思えます。

**(風見会長)**

若生市長からありましたように、交通に関しては広域的な視点が大変必要ですので、事務局のほうもよろしくお願ひいたします。特に、これから広域的な位置付けをはっきりとしていく時期で、そういう意味では、色々な追い風を受けて政策を立てていくことを期待しておりますので。それでは、順番を戻します。

### (村上委員)

総合計画審議会は一昨年からだだったので、富田委員の7年前からというのはよくわかっていなかった部分はあるのですが、今日、ご説明を聞いて、色々なところに関わらせていただき、一番市民に近い部分でもあり、行政の考え方もわかっており、とみやどもにも2年前から参加させていただいているので、どういう視点で広く不特定多数の方がとみやどを見られているのかというのを、目の当たりに経験、体験していたので。先ほど石井委員がおっしゃったように、ほかから見ると富谷は何て良いのだろうと、新しいことをどんどん生み出しているとか、そういうお声がすごく多いですね。うらやましいですとか、こういうところがあって良いですねと、とみやどはよく言われるのですけれども、元々あったところですよ、とみやども。歴史を振り返って、あのような場所を生き返らせたと言うか、そういう点では富谷にはまだまだ眠っているところがたくさんあると思うので、しんまち通りの活性と共にお茶も復活。新たなものも入れながらなのですが、元々あるものから富谷らしさが生まれて、今があると思うので、そういうところを生かしながら進めて、また新たなものを生み出してという、歴史と文化と、これからの未来の子どもたちのために何を残すかというところを考えて。子どもたちには蜜蜂を通して色々とお話したりとか、触れ合ったりしている部分があるので、今この子どもたちに残すものを、また富谷で良かったなと言ってもらえるようなものに取り組んでいながら、市民の皆さんにも住み続けてほしいなという風に活動してまいりたいと思っています。

### (風見会長)

是非、大亀山森林公園もよろしくお願ひします。それと、先ほどの富田委員のご意見で思ったのですけれども、よく炭鉱のカナリアと言うのですけれども、炭鉱のカナリアや蜜蜂というのは予兆なので。そういう意味で、生態系をどうするか、子どもたちにはより自然に触れ合うところを、富谷は素晴らしいところがたくさんあるので、大亀山森林公園も若生市長が大切にされたところなので、また新しい拠点と言うか、環境教育の場にもなっていくでしょうし、地域資源がたくさんありますので、それを皆で磨いていくということのご提案だと思いますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

### (松田委員)

富谷にお世話になって71年、大変お世話になっております。小さい頃から、村から町、そして市へと今変わっております。その中で私は商工会の代表という立場で、昔は各部落に1軒の個人的な店があって、よく学校帰りとかに買い物したり、とすけをやったりした時代から、今は本当にたくさんの企業が富谷に参入していただいて、大型店、そして大きな有名な工場などがたくさん入ってきております。今までの個人の商店を大事にしながら、大型商業施設と共存、共栄できるような何かをこれから商工会として保っていかなければならないのかなと感じております。今、あけの平、富ヶ丘、成田とか、各地に団地がありまして、ほとんどつながっておりますけれども、袋小路になっている団地もありまして、その辺の道路を、これからの都市計画でも考えていただきたいなと思っております。そしてまた、私も小松委員と一緒に農家もやっております。蜜蜂が富谷で全滅したという話を聞きまして、うちで二反分の田んぼがあるのですが、そこにまだ蜜が住みついております。除草剤をまいておけば、草刈りもしなくて済むのですけれども、そういう富谷の豊かな自然、鳥とかそういう小動物なども後世に残さなければいけないと思っております。本当に百姓をやっている、楽しく四つ葉のクローバーを探しながら草刈りをしています。また、私は車屋もやっております、最近希望ナンバーがすごく多いですね。その中で358というナンバーが最近よく目につくようになっております。富

谷の電話番号が 022 の 358、大変良い風水ではないかなと思っておりますし、これからの財政面とか、富谷市内の企業誘致とか、色々と市長は考えておるかと思っておりますけれども、昔ながらの富谷の心とか、そういう豊かな心、難しいかもしれませんが、そういう風土を、富谷に行くとなんとなく穏やかとか、和らぐとか、そういうものも大事にしていきたいと思っております。

#### (風見会長)

歴史的な視点と言うのか、古く長くお住まいになった方が、富谷の良さが残っているのか。それと先ほどありましたように、長年解決できない課題というものがあるのは残るのですが、そこについても是非ご提案いただいて、若生市長も取り組んでいきたいと思っておりますし、新しいことも重要ですが、旧来からの課題をしっかりと解決することはとても満足度に値すると思っております。蛍も良いですね、今なかなか見られなくなりましたよね。そういう意味で、富谷はたくさん見るところがありますから、是非プロモーションしていただいて、蛍の里をたくさん作ってほしいですね。これからも地域の歴史の語り部として、そういう視点で続けていただければと思います。

#### (本間委員)

私からはまず給食費の無償化、どうもありがとうございます。子どもたち、毎日感謝をして、おいしく給食をいただいております。学校としましては、ふるさと富谷の皆様に見守られて成長しているという思いを子どもたちの中に醸成していきたいと考えております。保護者の皆様にとっても、大きな経済的な支援になりましたし、学校の会計事務にとりまして、学校で集めさせていただく徴収金の中で給食費がとても大きな割合を占めていました。その集金がなくなったということで、本校では今年度保護者の皆様からたった 1 回だけの口座引き落としで会計事務が終わっております。本当に給食費の無償化を実施していただきまして、どうもありがとうございます。

もう 1 点、市民バスの年間利用者数の目標についてのご説明がありました。今年度、本校では全校児童、徒歩で通学しておりますが、少し遠い地域から歩いて通っている子どもたちもおります。50 人位の子どものたちになるのですが、その子どもたちに市民バスの無料券を配布していただきまして、どうもありがとうございました。今年の夏は猛暑でしたので、多くの子どもたちが利用させていただきました。市民バスを通学の足としても子どもたちは活用しています。この後は寒くなりますので、冬期間も利用が増えるのではないかと考えています。本校は 8 時 15 分始業となっております、市民バスが 8 時 03 分にあけの平公民館に来るものですから、保護者の方は遅刻についてとても心配なさっていました。学校では公共交通機関の遅れは遅刻にはなりませんということをお知らせしておりますので、これからも安心して市民バスを利用していただけたらと考えております。今後も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

#### (風見会長)

給食や通学、これも非常に細やかなところで、特に保護者にとっては重要なポイントだと思いますので、今頑張って施策をとられているということで、引き続き市のほうで頑張っていただきたいと思っております。

### (草野委員)

先ほど来ずっと出ております、富谷が100年間人口を維持もしくは増やしていくためには、色々条件を考えますけれども、やはり産業の育成というのが最大のポイントだと皆さんおわかりだと思うのですが、実は大衡村に今度半導体の工場ができると、皆さんニュースでお知りになっていると思うのですが、これを核子として黒川地域を半導体を中心としたシリコンバレーのミニチュア版みたいなことで盛り上げていく必要があるのではないかということで、この影響というのは、周辺部にかなりの動きをもたらすものだと思うのです。考えられるのは住宅とか、集合とかを考えてしまうのですが、それ以外にも仙台北部から大衡村までの国道4号線が一つの大きな集積、中央市街化と言いますか、人口的にどのくらいになるのかわかりませんが、そういうものを築いていくチャンスでもあるのではないか、その中心になるのはやはり富谷ではないかと最近常々思っています。色々な要素がございまして、この地域を富谷だけでやっていくには苦しい面があると思いますけれども、スケールを大きく見ますと色々な可能性、チャンスがあるのではないかと思っております。夢になるかもしれませんが、そのスケールで考えてみる必要があるのではないかという感じがいたします。

それともう一つ、話題が変わりますけれども、先ほど安齋委員から健康的なまちづくりというご意見がございました。私も国民健康保険審議会に出させてもらって、色々意見を交わしているわけなのですが、田園都市にしる健康づくりにしる、皆さんが健康でいつまでもということが必ず話題になりまして、その中で、富谷に限らず生活習慣病がなかなか成果が上がらないという一つの課題がございまして、これを何とか改善していく、特に子どもたちの肥満に対する将来的なことを考えますと、そういう問題もあるみたいでございまして、これをやるためには、お医者さんも審議会に出ているのですけれども、食べ物と運動だよと毎回言われております。食べ物についても飽食の時代ですので、食べるなとかやめろとかなかなか言いにくい面がございまして、一方で運動に関しては、それなりの場所とか施設を提供すれば、ある程度動いてやってくれるのではないかといつも思っているのです。よく地域でも子どもと遊ぶ所や運動する所が少ないと、公園があるのではないかと思うのですが、今の方たちはある程度の物が揃っていないとやらないと言うか、なかなか出かけていけないのです。そういうこともございまして、大亀山森林公園の再開発や、やすらぎパークのパークゴルフ場など色々あるのですが、一つの総合運動公園的なものにならないだろうか。この前私も見てきたのですが、道中のアクセスの問題もありますけれども、是非考えていただいて、市民の皆さんが喜んで運動してもらえるような施設が欲しいなど。将来に向けてそういうものが是非必要ではないかと思っております。

### (風見会長)

多岐にわたるご提案だったと思いますが、半導体の話はこれからの北部のエリアにおいて大きなインパクトがあると思いますけれども、広域連携でどういう風にこれから波及効果を引き出すのかということなのでしょうね。併せて、これから大事なものは健康、環境、教育、よく4Kとか3Kとかそういうことが言われるようになってきておりますが、やはり健康ですよね。健康的に暮らせるまちというのがとても重要になると思いますので、事務局のほうでもまたその提言を受けてご検討いただければと思います。

### (増田委員)

私は最近、お土産にするのに必ず蜂蜜を買って、大変香りが良いと喜ばれております。テッラマードレというイベントの時に初めて富谷茶を買うことができ、私自身大感激で大事にいくつか買ったうちの一つを宮城県のある所で地域のための居場所づくりをした方に蜂蜜とお茶を組み合わせで送ったのです。是非、富谷のものを皆さんで召し上がってくださいと、それも大変感激していただいて、友人といつでもこの蜂蜜とお茶を買えたら言うことないねと話しているところです。というのは、これは本当に単なる製品ではなくて、市民全体がこの環境を守ってこそ得られる商品ということで、この一つに込められているものというのは本当に誇りに思っていることだと思っています。そういう誇りが色々なところにあるというのが富谷の素晴らしさだなと思っています。

先ほど、学校教育に対する市民満足度についてはこれからのアンケートだというお話だったのですが、学校の先生方の富谷に勤めて本当に良かったと、富谷の学校の環境、先生に対する市民の温かさというのも本当に最高だと言ってもらえなければ、究極的には子どもたちに対して良い環境にはならないと思っています。その先生方に対する環境を作るのは市の努力というよりも、市民一人ひとりの意識の醸成というところになるのかなと思っています。私は一人の市民として、教育熱心の熱心さが先生方も含めた学校づくりという風に向けるように努力していきたいと思っております。この総合計画というのは、市だけの努力ではなく、さらに熱い市民の努力をもって初めて完成するという意識を忘れずにいたいと思っています。

### (風見会長)

私がまとめたいことをすべて言っていたようなところでした。本当に食材ですね。とみやどに交流館もあって、新たな起業や、また富谷の商品開発がされることを大変期待しています。またそれが今取り組んでいる真っ最中で吉報もこれから聞けると思いますけれども、それと同時に教育ですね。やはり教育環境だと思います。子どもたちが未来を本当に希望を持って生きれるかということと、地域が一体になれるかということ、オール富谷だと思いますので素晴らしいご意見ありがとうございました。

一巡させていただきました。あっという間にこのような時間になっておりまして、もう一言という方もいらっしゃると思いますけれども、オブザーバーに是非お声をいただきたいのですが、よろしいでしょうか。今、皆さんの意見を聞いた上で発言されるのは緊張されるかもしれませんが、若い未来を支える時代がいずれ来ますので、是非感想でも結構ですのでよろしくお願いします。

### (オブザーバー①)

本日はこのような会議に参加させていただき、大変ありがとうございました。先ほどの実績を聞かせていただき、市内の観光入れ込み客数の指標値が20万人ということでしたが、1年目にも関わらず実績値が約19万人ということはとても素晴らしいことだと思いました。今後もとみやどや大亀山森林公園などを含めた富谷市の発展がさらに楽しみになりました。私も富谷市の一市民として、今後何らかの形で市の発展に携わっていかれたらと思います。今日は本当にありがとうございました。

### (オブザーバー②)

本日は貴重な経験をありがとうございました。今回の審議会を拝聴していて委員の皆さんが真剣に富谷市に向き合っていることを知ることができ、これからの富谷市がどう変わっていくのかとても楽しみにになりました。私は今年度の生徒会サミットに参加し、子どもにやさしいまちづくりについて話

し合いました。その上で今回の審議会に参加させていただき、総合病院について興味を持ちました。特に小さい子供は急な病気や怪我が多いと思います。そのような時に総合病院があればすぐに対応を受けることができ、子どもが安心して過ごせるまちに近づくのではないかと考えました。ほかにも富谷市では市民に優しい取組をしていることを知ることができたので、私も挨拶を通して交流を増やすなどできることを探して取り組んでいきたいと思いました。本日はありがとうございました。

#### (風見会長)

二人にはこういう会議にお付き合いいただき、ありがとうございます。今の発言もそうなのですが、やはり将来を見据えた上で若い視点が本当に大事なのですね。ですから、また意欲的にこういう富谷をつくりたいというビジョンを学校でも率先してサミットでやっていただいて、持ち込んでいただけたら嬉しいなと思いますので、どんどん学校の中でも富谷市の将来について語る場を是非お願いしたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

それでは、ほぼ時間になってまいりましたので、最後に若生市長のほうからもまとめと言うか、今の若い人たちに対するお答えも含めてよろしくをお願いします。

#### (市長)

本当にそれぞれに皆さんから貴重なご意見ありがとうございました。そしてまた最後には、中学生を代表して日吉台中学校のお二人から貴重なご意見ありがとうございました。我々の励みにしたいと思っています。

先ほど草野委員からお話をいただいた、今回大衡に立地が決まったP SMC、台湾のですね。まさにこれは黒川圏域、宮城にとって、東北にとっても大きな可能性を秘めていると思います。特に富谷は隣接しておりますので、かなりの期待を持っております。あとは住民もですが、何よりも、知事も今回お話をされておりました、サプライチェーンに大きな期待をしております。ますますこの富谷、黒川地域というのは、大衡の工業団地、あとは大和の工業団地、富谷の工業団地も含め、いわゆる住・食すべてが整う最高の地域に私は可能性を持っているなと思っていますところでは。

最後に増田委員からのお話で、未来を担う子どもたちを直接教育いただいている先生方の満足度という視点は、これまで我々にとって何となく富谷を希望する先生方がたくさんいるという話と、富谷の先生が外に出たがらないという話は認識していたのですが、まさに大事な視点だなと改めて思いました。富谷の子どもたちを学校現場で育てていただいている先生方の満足度、そういうところを地域の皆さんと共に支えていくということはとても重要だなと思ったところがございます。

改めてそのほか、委員の皆さんから本当に色々な形でご意見をいただきました。今日いただいた意見をしっかりと整えて今後に活かしていきたいと思いますので、皆さん本当にありがとうございました。

#### (風見会長)

様々な意見が出ましたけれども、多分時間が足りなかったかと思います。言い残したことは、事務局のほうへ忌憚のないご意見をお寄せいただければと思います。若生市長からありましたように、これからおそらく半導体の件も含めて、ちょうどそれぞれの自治体の総合計画もインパクトがあるのではないかと思いますし、総合計画に対してもしっかりとそれを見据えた上で、将来の富谷が本当により良いものになるようにしっかり計画を作っていかなければならないと思います。そして、各委員ありがとうございました。こういうことの意味がすべて総合計画に反映してまいりますので、是非事務局

のほうはしっかりそれを受け止めていただいて、横断的に政策に、課題解決にお役立ていただければと思います。

それでは、少々時間がオーバーしてしまいましたが、活発なご議論ありがとうございました。以上で審議を終わりにしたいと思います。お疲れ様でございました。

## 6 閉会

以上